

審判上の確認事項

大会審判委員長

- 1、本大会は、2021年度 公益財団法人 日本バレーボール協会 9人制競技規則及び同競技実施要項により実施する。
- 2、試合はすべて3セットマッチで、プロトコール方式で行う。
- 3、公式練習の際には、エントリーされた選手とベンチスタッフのみが、アリーナに入ることができる。
- 4、監督またはゲームキャプテンがタイムアウトの要求をする場合はハンドシグナルを示すこと。
- 5、選手交代は1セットに6回まで要求することができる。また、同時に2組以上の交代を要求ができ、この場合コートに入るすべての交代選手は、同時に選手交代ゾーンに入らなければならない。監督およびゲームキャプテンは組数を示す必要はない。
- 6、交代選手は、選手交代ゾーンに入ったときはコートに入る準備をしていなければならない。交代する選手は、交代の要求が認められたときは速やかに選手交代ゾーン内のサイドライン上で片手の手を上げ、副審の合図で交代する。
- 7、競技中断（タイムアウト、選手交代）の要求は、プレーがノーカウントとなった直後は認められない（要求することができない）ので注意すること。
- 8、タイムアウト終了の吹笛後は、プレーをする選手は速やかにコートへ戻ること。
- 9、コートを交替する際、チームが9人の選手のみで構成されている場合は、2名から3名程度の選手が、荷物をベンチからベンチへ運ぶことを許可する。（残りの選手は、ルール通りコートを交替する。）
- 10、セット間の中断の時間は3分間であるが、2分30秒後には副審の吹笛により両チーム共にエンドライン上に整列する。
- 11、軽度の不法な行為があった場合は、再発を防止するため、そのチームはゲームキャプテンを通じて口頭で警告される。チーム内の2回目の軽度の不法な行為については、その競技参加者に対し、黄カードが示され警告の制裁を受ける。
- 12、試合中コートが濡れた場合は、コート内の選手がタオル等を用いて、ラリー終了後速やかに拭くこと。コート外まで幅広く濡れた場合は、審判が判断して指示するので、その指示に従い対応すること。尚、モップの使用は、タイムアウト、セット間、もしくは審判が指示したときのみである。この場合は、ベンチにいる競技参加者が速やかに行うこと。
- 13、タッチネットの反則となるのは、両アンテナ間のネット（アンテナを含む）に触れた場合である。アンテナ外側のネットに触れても相手チームの選手のプレーを妨害しない限り反則にならない。
- 14、競技場内で「ガム」を噛んだり、帽子を被ることは許されない。

以上